

浮島地区環境保全推進会

市町村名 沼津市

地域	浮島地区一円		代表者名	三橋幸利	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	84.70	対象面積 (ha)	水田	74.50	対象資源	数量
	畑	20.20		畑	15.50	農用地	90.9ha
	草地			草地		開水路	12.7km
	計	104.90		計	90.00	パイプライン	2.5km
主要作物	水稲他		参加団体	農業者 自治会連合会 部農会 コミュニティ推進委員会 婦人会 市立浮島小学校PTA 南駿農業協同組合(青年部・女性部) NPO浮島沼自然里づくりの会 南駿農業協同組合浮島支店		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	16.2km
人数	424	9	433			事業費(年)	3,712,000
主な活動内容	<p>(基礎部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の発生状況の把握 施設の点検 共同作業計画の策定 施設周辺の草刈り 水路の泥上げ 農道の草刈り 他 		<p>(農地・水向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の機能診断 共同活動計画の策定 パイプライン、開水路、農道の保守管理の徹底 他 		<p>(農村環境向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ツバメのねぐら入り大群舞が見られるヨシ原の整備 稀少動植物の保護 子供たちを中心にした農業体験、自然観察活動の推進 		
地域の概要	<p>浮島地区は富士山・愛鷹山・湧き水・水田・ヨシ原などが混然一体となっておりなす景観を誇る美しい農村地帯。しかし、現在では、専業農家の激減、農業従事者の高齢化の進行等による農地の放棄・荒廃が進行し、同地区に生息する希少な動植物が激減している。</p>						
目指すべき方向	<p>浮島地区では以下の活動を通して、農地・水・環境の保全と「住みよい浮島」を創り、次世代を担う子どもたちに美しい景観を残す(「子孫に美田を残す」)ための取組を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①農地の維持保全 ②セイタカアワダチソウ、くず、アメリカセンダングサ、アレチウリなど有害植物等の処理 ③「住んでよかった浮島・住んでみたい浮島」の実現のためのいろいろな角度からの勉強会の開催 ④静岡県内の10の守りたい自然の一つ「浮島沼の自然」の景観の再認識と絶滅が心配される動植物(レッドデータブック)の保護活動 						
活動の感想	<p>1年遅れの平成20年度から活動を始めた。農道・農業用水路の整備はもとより、休耕地にひまわりを植えたり、これからの浮島のあり方について勉強会等を実施し、多くの地域住民が参加した。これらの活動を通して農村環境に対する関心が深まり、地域住民一体となった共同参加活動に変化する兆しが現れてきた。</p>						
課題	<p>「美しい浮島の農空間」・「自然豊かな浮島」が、農業従事者の高齢化、後継者不足等により崩れかけている。そこで、若い人たちが農業に関心を持ち、魅力ある農村環境をどのように創っていくか多くの宿題が浮かび上がった。</p>						
抱負・コメント	<p>経済効率を追求した結果、メダカ等の生物が住みにくい環境になってしまった。そこで、コンクリート三面側溝のかわりに木製クイと矢板での護岸工事(「すいどっか」)や「わんど」を作り、生息環境の整備に力を注いだ1年であった。今後も地域住民一体となって「次世代を担う子どもたちに美しい景観を残し、住みたい浮島づくり」に取り組んでいきたい。</p>						
				 <p>田植え体験「ウワァー、ぬるぬるねばねばだー」</p>			
				 <p>稲刈り体験「ずっしり重い稲穂を体感」</p>			
				 <p>「わんどーらんどに続く『すいどっか』」</p>			